

令和5年 鬼北町二十歳のつどい

懐かしい級友と共に 20歳の節目を晴れやかに

1月3日、広見体育センターで「令和5年鬼北町二十歳のつどい」が開催されました。

民法改正により、令和4年4月1日から成人年齢が18歳に引き下げられたことを受け、町では成人式を「二十歳のつどい」へ名称変更し、20歳を迎える方を対象に実施。55人(男32人、女23人)が出席しました。

式典では、兵頭誠亀鬼北町長が「一生に一度の節目。日ごろ思っているもなかなか言えない感謝の気持ちを、周囲の方に伝えてほしい」と、出席者を激励。恒例となった恩師からのビデオレターの上映が始まると、懐かしい顔ぶれと恩師からの祝福の言葉に、会場は温かな空気に包まれました。

出席者を代表しての謝辞では、武田大輝さん＝近永＝が「これから先、どんなに辛く逃げ出したいことがあっても、諦めず仲間と一緒に夢や目標に向かって努力し続けたい」と、20歳としての決意と謝辞を述べていました。

記念撮影の後、クラスメイト同士で写真を撮ったり、お互いに近況を報告し合ったりと、友人との再会を懐かしむ参加者たち。人と人とのつながりの大切さを改めて感じながら、20歳としての新たな決意を胸に、晴れのひとときを笑顔で過ごしていました。



①写真パネルの前で②謝辞を述べる武田大輝さん＝近永＝③町長から記念品を受け取る井関来望さん＝近永＝④懐かしいあの頃…⑤久々の再会にこぼれる笑み⑥インスタントカメラでパシャリ！⑦全員での記念撮影⑧20歳を迎えるの抱負は…⑨この日の思い出を級友同士で